

日ス振支企第9号
令和2年4月17日

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会会長 殿

独立行政法人日本スポーツ振興センター
理事長 大東 和美



令和2年度スポーツ振興くじ助成金交付決定通知書

令和2年度スポーツ振興くじ助成金について、独立行政法人日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金交付要綱（平成15年度要綱第18号。以下「交付要綱」という。）第4条の規定により、下記のとおり交付することに決定しましたので通知します。

記

- 1 助成金の額は、17,135,000円とする。
（助成事業ごとの助成対象経費限度額及び助成金の額については別紙のとおり）
ただし、助成金の確定額は、交付要綱第13条に基づく審査等を行った上、交付すべき助成金の額を確定するものとする。
なお、助成事業の内容の変更により、助成事業に要する経費及び助成対象経費が変更された場合については、別に通知するところによるものとする。
- 2 助成事業者は、交付要綱及び関係規程の定めるところに従わなければならない。
- 3 助成金の支出等に当たっては、公正かつ効率的執行に努めること。

交 付 決 定 額 内 訳 表

(単位：円)

| 助成区分 事業細目名 事業名 | 助成対象 経費限度額 | 交付決定額 |
|---|---------------|------------|
| 将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成 タレント発掘・一貫指導育成 世界選抜育成キャンプへの派遣およびU-19・カレッジ世界大会に向けてのト ライアウト | 19,676,000 | 15,740,000 |
| スポーツ団体スポーツ活動助成 スポーツ指導者の養成・活用（スポーツ） アメリカンフットボールアカデミー | 951,000 | 608,000 |
| スポーツ団体スポーツ活動助成 ドーピング検査 ドーピング検査 | 75,000 | 67,000 |
| スポーツ団体スポーツ活動助成 スポーツ団体ガバナンス強化 フェアプレイ推進事業 | 1,200,000 | 720,000 |
| 合計 | 21,902,000 | 17,135,000 |

事業計画書

【将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成】

| | | | |
|-----------------------------------|---|---|---------|
| 助成事業細目 | タレント発掘・一貫指導育成事業 | | |
| 助成対象者名 | 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会 | | |
| 事業名 | 世界選抜育成キャンプおよびU-19・カレッジ世界大会に向けてのトライアウト | | |
| 優先順位／申請件数 | 1 位／ 1 件中（将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成における順位を記入） | | |
| 事業実施期間 | WUCトライアウト令和2年4月18.19日・25.26日5月23.24日・30.31日、U-19トライアウト5月9,10日・16,17日6月20.21日、IBトライアウト7月24.27日・11月28.29日、IB渡航令和3年1月13日～1月20日 | | |
| 目的及び期待される効果 | <p>本事業は、国際競技力の向上を目的とする競技者育成プログラムにおいて重要な位置を占める事業である。国際競技力を向上させるためには、日本人特有のスピードや敏捷性を生かした戦略・戦術を磨くことが重要であることは言うまでもないが、アメリカ選手と対等以上に戦うために必要な筋力、スピードを身に着けることがそれ以上に重要であり、そのためには若いころからアメリカ選手との対戦を経験させることは非常に有益と思われる。そこで、将来有望と思われる選手を「国内トライアウト」にて発掘し、毎年1月にアメリカ合衆国テキサス州で開催される「世界選抜育成キャンプ」に派遣し、アメリカチームと対戦させることによって国際競技力の向上を図る。また、そこで育てた選手も含めU-19、カレッジ世界大会に向けてのトライアウトを行なうことで、さらに優秀な選手を育てることができる。</p> | | |
| 前年度実績及び当該年度見込(目標) | | 令和元年度実績(見込含む) ※実施団体のみ記載 | 令和2年度見込 |
| | 延べ参加人数 | 1,428 人 | 2,040 人 |
| | 活動日数 | 20 日 | 26 日 |
| | 各年代の代表選手輩出数 | 40 人 | 130 人 |
| 具体的な事業の内容 | 事業の詳細 | <p>第一段階として、将来有望と思われる選手を「国内トライアウト」によって選抜し、第二段階として、国内トライアウトで選抜された選手を、「世界選抜育成キャンプ」に派遣して国際競技力の向上を目指すものである。</p> <p>「世界選抜育成キャンプ」は、ユース・ジュニア層のフットボールを統括する団体(USA Football)とIFAFの共同事業として実施されるもので、世界各国から選抜された19歳未満の選手(U-19)がアメリカの熟練コーチの指導を受け、チームを編成してアメリカチームと対戦するものである。カナダは毎年1～3チームを派遣しており、日本はカナダにならない、昨年度同様単独チームを編成できる40名の選手と4名のコーチを派遣してアメリカの熟練コーチの指導による強化キャンプを経てアメリカ代表チームとの対戦を経験させる。その後2年に1度のU-19、カレッジ世界大会に向けトライアウトを行なう。</p> | |
| | 事業の第三者への委任(委託等)の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 | | |
| | [委任がある場合の内容] | | |
| 事業と「競技者育成プログラム」との関連 | <p>競技者育成プログラム_JAFA参照</p> <p>※申請事業の競技者育成プログラムでの位置付けが分かる該当ページのコピーを添付。</p> | | |
| 事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開方法 | 情報の公開方法(複数選択可) | <input checked="" type="checkbox"/> HPで公開する <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開する <input type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備する <input checked="" type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示する | |
| | 公表する内容(複数選択可) | <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開する) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開する) <input checked="" type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開する) | |
| 備考 | | | |

スポーツ振興くじ助成金に係る交付決定（内定）額の算定について

| | |
|--------|---|
| 助成事業者名 | 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会 |
| 助成区分 | スポーツ団体スポーツ活動助成 |
| 事業細目名 | タレント発掘・一貫指導育成事業 |
| 事業名 | 世界選抜育成キャンプへの派遣およびU-19・カレッジ世界大会に向けてのトライアウト |

令和2年度スポーツ振興くじ助成事業の審査結果は、以下のとおりです。

詳細については、同封の収支予算書等をご確認ください。

| | |
|-----------|--------------|
| 助成対象経費限度額 | 19,676,000 円 |
| 助成対象額 | 15,740,000 円 |
| 評価 | A |
| 配分割合 | 100% |
| 交付決定（内定）額 | 15,740,000 円 |

※助成対象額は、助成対象経費限度額に助成割合を乗じて算出しています。ただし、助成事業者の申請内容（助成事業者の自己負担額が千円未満の場合等）によっては、助成割合を乗じた額にならない場合があります。

※評価については、『令和2年度スポーツ振興くじ助成金募集の手引』に記載の、「審査の視点」の各項目を点数化し、スポーツ振興事業助成審査委員会において審議された配分基準に基づく評価及び配分割合（当センターホームページをご参照ください。）により、交付決定（内定）額を算出しています。

評価A：100%

評価B：80%

評価-：70% 申請1年目において前年度実績が乏しい団体

※個別の評価詳細については、お問い合わせをいただいてもお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

※助成金の確定額（事業終了後）を算出する際には、最終的な助成対象経費限度額に助成割合を乗じた額と、交付決定額のいずれか低い額を確定額とします。再度、上記配分割合を乗じることはありません。

| | |
|------------|---------------------------------------|
| 助成事業（決定）者名 | 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会 |
| 助成事業（活動）細目 | タレント発掘・一貫指導育成 |
| 事業（活動）名 | 世界選抜育成キャンプおよびU-19、カレッジ世界大会に向けてのトライアウト |

【事業実施にあたっての注意事項】

- ※ 交付決定（内定）時に助成対象経費とした経費であっても、実施状況報告及び実績報告の内容を審査した結果、助成対象経費とならない場合がありますので、事務処理体制を適切に構築してください。
- ※ 助成事業（決定）者は、金融機関に助成事業（活動）についての専用の口座を設け、助成事業（活動）に係る入出金は全て当該専用口座を活用する必要があります。
- ※ 助成対象経費の支払は、本邦の通貨（円）とし、助成事業専用口座からの、口座間の銀行振込を原則とします。一部の例外を除き、現金により支出する場合は助成対象経費となりませんのでご注意ください。詳細は、「会計処理の手引」P.11をご確認ください。

交付申請書の審査結果は以下のとおりですので、ご確認ください。
 なお、交付決定（内定）金額は交付決定（内定）通知書のとおりです。

| 項目 | 内容 | 審査結果 |
|--------|-----------|---|
| 諸謝金 | 謝金支給について | 諸謝金を対象経費とする場合には、実績報告時に従事時間確認簿を提出してください。また、各個人が謝金を受領していることが確認できる書類（振込伝票、領収書、受領書等）を提出してください。 |
| 旅費・交通費 | 旅費について | 実費弁償（直接に実際にかかった経費の支給）が原則となりますので、実績報告時には旅費支給一覧等、旅行行程のわかる資料を提出してください。 |
| 旅費・宿泊費 | 宿泊費について | 実績報告時に1泊あたりの宿泊代金がわかるもの（領収書・請求内訳等）を提出してください。また、貴協会の規定上8,000円と定められておりますので、助成対象経費の限度額も8,000円までとなります。（8,000円を超過して支給する場合、団体内で機関決定し承認されたことが確認できた際は8,000円を超えた金額を対象経費と認められる可能性があります。） |
| 渡航費 | 渡航費について | 航空券の搭乗日・経路・価格が分かる書類（eチケット、搭乗証明書、予約確認表等）を実績報告時に提出してください。また、搭乗者と遠征参加者を確認するため、参加者名簿をご提出ください。 |
| 渡航費 | 滞在費について | 1泊あたりの宿泊代金がわかるもの（領収書・請求内訳等）を実績報告時に提出してください。また、宿泊者名簿をご提出ください。 |
| 印刷製本費 | 印刷物について | スポーツじのロゴマークとスポーツ振興くじ助成事業の旨の掲示があるものが助成対象経費となります。実績報告時に、成果物も併せてご提出ください（JSC報告分を作成できない場合は、成果物の写真を残しておくなど、何を作成し、ロゴマークは表示していたのか等証明できるようにしておいてください）。 |
| 通信運搬費 | 荷物運搬費について | 目的、荷物の内容・数量等が明確なものに限り対象となります。実績報告時に確認をします。 |
| | | |
| | | |

収 支 予 算 書

| | |
|-----------|---|
| 団 体 名 | 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会 |
| 事 業 細 目 名 | タレント発掘・一貫指導育成 |
| 事 業 名 | 世界選抜育成キャンプへの派遣およびU-19・カレッジ世界大会に向けてのトライアウト |

(収入) (単位：円)

| 科 目 | 金 額 | 内 容 |
|------------|------------|----------------------|
| くじ助成金収入 | 15,740,000 | 助成割合：4/5 |
| 協賛金収入 | | |
| 入場料収入 | | |
| 参加料収入 | 6,400,000 | IB遠征参加費 160,000円×40人 |
| 補助金・委託金等収入 | | |
| その他収入 | | |
| 自己負担金 | 5,990,000 | |
| 合 計 | 28,130,000 | |

(支出) (単位：円)

| 科 目 | 事業に要する経費 | 助 成 対 象 経 費 | | | 助成対象外経費 |
|---------------|------------|------------------|-------------------------|-------------------|-----------|
| | | 助成対象 経費総額 (A) | 左記のうち、助成対象 経費限度額 (B) | 限度額との差 (A - B) | |
| 諸 謝 金 | 1,748,000 | 1,748,000 | 1,748,000 | | |
| 旅 費 | 2,976,000 | 2,976,000 | 2,976,000 | | |
| 渡 航 費 | 9,900,000 | 9,900,000 | 9,900,000 | | |
| 滞 在 費 | 3,623,000 | 3,623,000 | 3,623,000 | | |
| 借 料 及 び 損 料 | | | | | |
| 消 耗 品 費 | 1,604,000 | | | | 1,604,000 |
| ス ポ ー ツ 用 具 費 | 778,000 | 378,000 | 378,000 | | 400,000 |
| 備 品 費 | | | | | |
| 印 刷 製 本 費 | 523,000 | 523,000 | 523,000 | | |
| 通 信 運 搬 費 | 555,000 | 390,000 | 390,000 | | 165,000 |
| 委 託 費 | | | | | |
| 賃 金 | | | | | |
| 会 議 費 | | | | | |
| 雑 役 務 費 | 138,000 | 138,000 | 138,000 | | |
| 補 助 金 ・ 交 付 金 | | | | | |
| そ の 他 | 6,285,000 | | | | 6,285,000 |
| 合 計 | 28,130,000 | 19,676,000 | 19,676,000 | | 8,454,000 |

C 19,676,000

経費内訳表

団体名: 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会

事業細目名: タレント発掘・育成指導育成

事業名: 世界最優秀タレント発掘育成大会(18・19・20レジェンド大会)の海外フットアウト

| 科目 | 助成対象経費 | | | | 金額 | 積算内訳 |
|---------------|------------|---|--------------------|--|-----------|--|
| | 助成対象経費(A) | | 左記のうち、助成対象経費限度額(B) | | | |
| | 金額(円) | 積算内訳 | 金額(円) | 積算内訳 | | |
| 請 謝 金 | 1,748,000 | RCCコーチ謝金(国内練習) 5,568円×13人×8日 U19コーチ謝金(国内練習) 5,568円×13人×6日 IBコーチ謝金(国内練習) 5,568円×13人×4日 IBコーチ謝金(海外遠征) 5,568円×8人×8日 IBドクター&トレーナー謝金(海外遠征) 5,568円×2人×8日 | 1,748,000 | RCCコーチ謝金(国内練習) 5,568円×13人×8日 U19コーチ謝金(国内練習) 5,568円×13人×6日 IBコーチ謝金(国内練習) 5,568円×13人×4日 IBコーチ謝金(海外遠征) 5,568円×8人×8日 IBドクター&トレーナー謝金(海外遠征) 5,568円×2人×8日 | | |
| 旅 費 | 2,976,000 | IB旅費(国内練習: コーチ同乗: 関西 10:3) 遠距離(30,000円×26人) 近距離(2,000円×往復×26人) U19旅費(国内練習: コーチ同乗: 関西 10:3) 遠距離(30,000円×20人) 近距離(2,000円×往復×20人×2日) RCC旅費(国内練習: コーチ同乗: 関西 10:3) 遠距離(30,000円×26人) 近距離(2,000円×往復×26人×2日) IB宿泊(8,000円/泊×4人×日) U19宿泊(8,000円/泊×17人×日) RCC宿泊(8,000円/泊×22人×日) | 2,976,000 | IB旅費(国内練習: コーチ同乗: 関西 10:3) 遠距離(30,000円×26人) 近距離(2,000円×往復×13人×2日) U19旅費(国内練習: コーチ同乗: 関西 10:3) 遠距離(30,000円×20人) 近距離(2,000円×往復×20人×2日) RCC旅費(国内練習: コーチ同乗: 関西 10:3) 遠距離(30,000円×26人) 近距離(2,000円×往復×26人×2日) IB宿泊(8,000円/泊×4人×日) U19宿泊(8,000円/泊×17人×日) RCC宿泊(8,000円/泊×22人×日) | | |
| 運 航 費 | 9,900,000 | IB: 選手40名、コーチ・ドクター計10名、JAF A役員随員1名 アメリカダラスへの航空運賃等(2018年度実績単価) 185,000円×51人×1.05(値上リスク) | 9,900,000 | IB: 選手40名、コーチ・ドクター計10名、JAF A役員随員1名 アメリカダラスへの航空運賃等(2018年度実績単価) 185,000円×51人×1.05(値上リスク) | | |
| 滞 在 費 | 3,623,000 | IB: ダラスでの宿泊費(2人部屋食事なし) 選手\$175×6泊×20部屋×115円/\$ 日本人コーチ&ドクター&JAF A \$175×6泊×6部屋×115円/\$ USコーチ\$175×6泊×4部屋×115円/\$ | 3,623,000 | IB: ダラスでの宿泊費 選手\$175×6泊×20部屋×115円/\$ 日本人コーチ&ドクター&JAF A \$175×6泊×6部屋×115円/\$ USコーチ\$175×6泊×4部屋×115円/\$ | | |
| 備 料 及 び 租 料 | | | | | | |
| 消 耗 品 費 | | | | | 1,604,000 | IB(2019実績) ユニフォーム一式: \$242×40人 ソックス: \$150 デキヤル: \$300 その他: 手数料\$200 合計: \$10,390(選手40人分)×115円/\$ IB チームアパレル(ボロ&ワーディ渡航・管段着) 選手40+スタッフ10+USコーチ2 \$000円×52 |
| ス ポ ー ツ 用 具 費 | 378,000 | フットボール 13,500円×28個=378,000円 | 378,000 | フットボール 13,500円×28個=378,000円 | 400,000 | ヘルメット購入補助1万円×40=40万円 |
| 備 品 費 | | | | | | |
| 印 刷 製 本 費 | 523,000 | ブレイクブック(45ページ×8円+ホチキス2箇所100円)×1.10 9510円×850部 HUF資料(15ページ×8円+ホチキス2箇所20円)×1.10 9160円×560部 | 523,000 | ブレイクブック(45ページ×8円+ホチキス2箇所100円)×1.10 9510円×850部 HUF資料(15ページ×8円+ホチキス2箇所20円)×1.10 9160円×560部 | | |
| 通 信 運 搬 費 | 390,000 | トライアウト(IB、U19、カレッジ、IB渡航用) 機材運搬30,000円×13回=390,000円 | 390,000 | トライアウト(IB、U19、カレッジ) 機材運搬30,000円×13回=390,000円 | 165,000 | 渡航時のWiFi |
| 委 託 費 | | | | | | |
| 貸 金 | | | | | | |
| 会 議 費 | | | | | | |
| 報 役 務 費 | 138,000 | 届込手数料、送金手数料(実績平均回数) IB 770円×58回+7,000円(2回送金) U19 770円×56回 RCC 770円×56回 | 138,000 | 届込手数料、送金手数料(実績平均回数) IB 770円×58回+7,000円 U19 770円×56回 RCC 770円×56回 | | |
| 補 助 金 ・ 交 付 金 | | | | | | |
| そ の 他 | | | | | 6,285,000 | IB: 遠征中の運営費(USAフットボール協会へ支払) ミーティングルーム: \$850×5日=\$4250 食事: \$3000×6日=\$18,000 USコーチ食事: \$420×6日=\$2520 バス代: \$2000×6日=\$12,000 レンタカー: \$900 練習施設・トレーナー・用具: \$3000 試合経費: \$7000 スクリーン経費: \$1000 合計: \$48,670×115円/\$ IB旅行傷害保険 7600円×51人 IB国内トライアウト保険 @400/日×94人×4回 U19国内トライアウト保険 @400/日×94人×2回 RCC国内トライアウト保険 @400/日×94人×2回 |
| 合 計 | 19,676,000 | | 19,676,000 | | 8,454,000 | |

※委託費、補助金については、実施内容に"〇〇委託"などとして、その内訳を記載。

事業計画書

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

| | | | | |
|---------------------------------|--|--|----------------------------|--------------------------------|
| 助成事業細目 | スポーツ活動推進事業(スポーツ指導者の養成・活用) | | | |
| 助成対象者名 | 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会 | | | |
| 事業名 | アメリカンフットボールアカデミー | | | |
| 優先順位/申請件数 | 1 位 / 1 件中 (スポーツ活動推進事業における順位を記入) | | | |
| 目的及び期待される効果 | 事業の特長 | 左記に該当する場合には、その理由を記入すること | | |
| | <input type="checkbox"/> 高齢者のスポーツ活動の支援 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 障がい者のスポーツ活動の支援 | | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> ジュニアの育成・子どもの体力向上 | 年齢層を細分化して実施し、ユース、ジュニアの育成にも力を入れる。 | | |
| | <input type="checkbox"/> 女性アスリートの支援 | | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 競技水準の向上 | 基本技術を中心にアカデミーコーチ(日本代表コーチ又はその候補者)が一貫した指導を行うので、全体のレベルアップが期待できる。 | | |
| くじ助成金以外の収入の増加に向けた取り組みを行う | <input checked="" type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない | 具体的な取り組みを行う場合には、その内容を以下に記入すること。 | | |
| | 参加選手から参加費を徴収する | | | |
| 事業予算の確保状況 | <input checked="" type="checkbox"/> 自己財源確保済 <input type="checkbox"/> 自己財源未確保(助成金の交付がないと事業規模が縮小する場合も含む) | | | |
| 具体的な事業の内容 (種目・期間・場所・対象者等) | [実施事業の内容] | | | |
| | 開催期間・開催日 | 安全講習会(Heads Up Football)への指導者派遣:6/6、7/5,12,19,26、3/7,13,14,21 | | |
| | 主催者 | 益社団法人日本アメリカンフットボール協会 | | |
| | 共催者 | なし | | |
| | 主催・共催者において、助成事業者以外の財政負担額 | | | |
| | 開催場所 | 東京、大阪、名古屋、愛媛、北海道、仙台、福岡、他 | | |
| | 事業の目的 (いずれか1つのみ選ぶこと) | <input type="radio"/> 地域において、広く参加者を募集し、スポーツの普及や競技技術の向上のために開催する事業 <input checked="" type="radio"/> 当該国を統括する競技団体が派遣する代表チームが参加する事業 <input type="radio"/> 各競技種目や年代別の日本選手権大会 <input type="radio"/> 全国の予選会等において選抜された代表選手が出場する事業 | | |
| | 事業の内容 | ■安全講習会(Heads Up Football)への指導者の派遣:安全(頭部頭部外傷)に配慮した競技の普及を目指し正しい技術の取得をフットボール未経験者から指導者まで講義と実技にて指導。また、技術とともに体作り、安全面に着目し、「栄養講座」「トレーニング講座」および「正しい防具フィッティング講座」を1つのプログラムとして指導する。 | | |
| | 事業の参加者 | <input checked="" type="checkbox"/> 事業のために参加者を募集し、希望者は誰でも参加できる <input checked="" type="checkbox"/> 代表選手等選抜された者のみ参加できる <input type="checkbox"/> 事業のための参加者募集はせず、クラブ会員や特定チームのみ参加する | | |
| | 標準記録等条件の設定 | <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし | 標準記録等の内容 | |
| | 事業(大会・教室等)の予定実施回数 | 9 | 回 | ※左の欄に数値を入力すると、右の欄は自動で割合が計算される。 |
| | 平均参加予定人数(見込) ※スタッフ・観覧者は除く。 | 110 | 人 | 総参加人数(見込) 990 人 |
| | (うち地域住民(貴団体の所在する都道府県内に住む方)の参加予定人数) | 0 | 人 | 地域住民参加割合 0.00 % |
| | (うち障がい者参加予定人数) | 0 | 人 | 障がい者予定参加割合 0.00 % |
| 実施日における運営スタッフ(請負業者を除く)の平均参加予定人数 | 4 | 人 | 平均参加人数に対する運営スタッフの割合 3.64 % | |
| 観覧者数(見込) | | 人 | | |
| 緊急体制(予定) | <input type="checkbox"/> 医師が待機 <input type="checkbox"/> 看護師が待機 <input checked="" type="checkbox"/> 会場にAEDを設置 <input type="checkbox"/> 該当なし | | | |

事業計画書

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

| | | | |
|--------------------------|--|------------------------|---|
| 助成事業細目 | スポーツ活動推進事業(スポーツ指導者の養成・活用) | | |
| 助成対象者名 | 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会 | | |
| 事業名 | アメリカンフットボールアカデミー | | |
| 情報公開 | 事業の実施計画の公表 | 事業を広報・PRするための手段(複数選択可) | <input type="checkbox"/> HPで参加者募集を告知する <input checked="" type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で参加者募集を告知する <input type="checkbox"/> 広くチラシを配布する <input checked="" type="checkbox"/> 特定の参加者・団体へ声をかけ、参加を呼びかける |
| | 事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開方法 | 情報の公開方法(複数選択可) | <input checked="" type="checkbox"/> HPで公開する <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開する <input checked="" type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備する <input checked="" type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示する |
| | | 公表する内容(複数選択可) | <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開する) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開する) <input checked="" type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開する) |
| 事業実施後に、参加者等に対する満足度調査を行うか | <input checked="" type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない | 実施方法 | 参加者へのアンケート調査:一部、からだづくりアンケートで実施する。 |
| 備考 | | | |

※本計画書はA4サイズ2頁で印刷してください。

スポーツ振興くじ助成金に係る交付決定（内定）額の算定について

| | |
|--------|-----------------------|
| 助成事業者名 | 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会 |
| 助成区分 | スポーツ団体スポーツ活動助成 |
| 事業細目名 | スポーツ活動推進事業 |
| 事業名 | アメリカンフットボールアカデミー |

令和2年度スポーツ振興くじ助成事業の審査結果は、以下のとおりです。

詳細については、同封の収支予算書等をご確認ください。

| | |
|-----------|-----------|
| 助成対象経費限度額 | 951,000 円 |
| 助成対象額 | 760,000 円 |
| 評価 | B |
| 配分割合 | 80% |
| 交付決定（内定）額 | 608,000 円 |

※助成対象額は、助成対象経費限度額に助成割合を乗じて算出しています。ただし、助成事業者の申請内容（助成事業者の自己負担額が千円未満の場合等）によっては、助成割合を乗じた額にならない場合があります。

※評価については、『令和2年度スポーツ振興くじ助成金募集の手引』に記載の、「審査の視点」の各項目を点数化し、スポーツ振興事業助成審査委員会において審議された配分基準に基づく評価及び配分割合（当センターホームページをご参照ください。）により、交付決定（内定）額を算出しています。

評価A：100%

評価B：80%

評価-：70% 申請1年月において前年度実績が乏しい団体

※個別の評価詳細については、お問い合わせをいただいてもお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

※助成金の確定額（事業終了後）を算出する際には、最終的な助成対象経費限度額に助成割合を乗じた額と、交付決定額のいずれか低い額を確定額とします。再度、上記配分割合を乗じることはありません。

| | |
|------------|-----------------------|
| 助成事業(決定)者名 | 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会 |
| 助成事業(活動)細目 | スポーツ指導者の養成・活用(スポーツ) |
| 事業(活動)名 | アメリカンフットボールアカデミー |

【事業実施にあたっての注意事項】

- ※ 交付決定(内定)時に助成対象経費とした経費であっても、実施状況報告及び実績報告の内容を審査した結果、助成対象経費としない場合がありますので、事務処理体制を適切に構築してください。
- ※ 助成事業(決定)者は、金融機関に助成事業(活動)についての専用の口座を設け、助成事業(活動)に係る入出金は全て当該専用口座を活用する必要があります。
- ※ 助成対象経費の支払は、本邦の通貨(円)とし、助成事業専用口座からの、口座間の銀行振込を原則とします。一部の例外を除き、現金により支出する場合は助成対象経費となりませんのでご注意ください。詳細は、「会計処理の手引」P.11をご確認ください。
- ※ 当事業の助成対象経費の下限額は、40万円となります。事業を実施した結果、助成対象経費が上記下限額に満たない場合は、助成金の交付を行いませんので、注意してください。

交付申請書の審査結果は以下のとおりですので、ご確認ください。
 なお、交付決定(内定)金額は交付決定(内定)通知書のとおりです。

| 項目 | 内容 | 審査結果 |
|--------|----------|---|
| 諸謝金 | 謝金支給について | 諸謝金を対象経費とする場合には、実績報告時に従事時間確認簿を提出してください。また、各個人が謝金を受領していることが確認できる書類(振込伝票、領収書、受領書等)を提出してください。 ※海外遠征中の移動のみの日については助成対象となりませんのでご注意ください。 |
| 旅費_交通費 | 旅費について | 実費弁償(直接に実際かかった経費の支給)が原則となりますので、実績報告時には旅費支給一覧等、旅行行程のわかる資料を提出してください。 |
| 旅費_宿泊費 | 宿泊費について | 実績報告時に1泊あたりの宿泊代金がわかるもの(領収書・請求内訳等)を提出してください。また、貴協会の規定上8,000円と定められておりますので、助成対象経費の限度額も8,000円までとなります。 (8,000円を超過して支給する場合、団体内で機関決定し承認されたことが確認できた際は8,000円を超えた金額を対象経費と認められる可能性があります。) |
| | | |
| | | |
| | | |

収 支 予 算 書

| | |
|-----------|-----------------------|
| 団 体 名 | 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会 |
| 事 業 細 目 名 | スポーツ指導者の養成・活用（スポーツ） |
| 事 業 名 | アメリカンフットボールアカデミー |

(収入) (単位：円)

| 科 目 | 金 額 | 内 容 |
|------------|-----------|----------|
| くじ助成金収入 | 608,000 | 助成割合：4/5 |
| 協賛金収入 | | |
| 入場料収入 | | |
| 参加料収入 | | |
| 補助金・委託金等収入 | | |
| その他収入 | | |
| 自己負担金 | 1,725,000 | |
| 合 計 | 2,333,000 | |

(支出) (単位：円)

| 科 目 | 事業に要する経費 | 助 成 対 象 経 費 | | | 助成対象外経費 |
|---------------|-----------|------------------|-------------------------|-----------------|---------|
| | | 助成対象 経費総額 (A) | 左記のうち、助成対象 経費限度額 (B) | 限度額との差 (A-B) | |
| 諸 謝 金 | 200,000 | 200,000 | 200,000 | | |
| 旅 費 | 720,000 | 720,000 | 720,000 | | |
| 渡 航 費 | | | | | |
| 滞 在 費 | | | | | |
| 借 料 及 び 損 料 | | | | | |
| 消 耗 品 費 | 150,000 | | | 150,000 | |
| ス ポ ー ツ 用 具 費 | 297,000 | | | 297,000 | |
| 備 品 費 | | | | | |
| 印 刷 製 本 費 | 160,000 | | | 160,000 | |
| 通 信 運 搬 費 | 135,000 | | | 135,000 | |
| 委 託 費 | | | | | |
| 賃 金 | | | | | |
| 会 議 費 | | | | | |
| 雑 役 務 費 | 331,000 | 31,000 | 31,000 | 300,000 | |
| 補 助 金 ・ 交 付 金 | | | | | |
| そ の 他 | 340,000 | | | 340,000 | |
| 合 計 | 2,333,000 | 951,000 | 951,000 | 1,382,000 | |

C 951,000

経費内訳表

団体名: 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
 事業細目名: スポーツ指導者の養成・活用(スポーツ)
 事業名: アメリカンフットボールアカデミー

| 科目 | 助成対象経費 | | | | 助成対象外経費 | |
|---------------|-----------|---|--------------------|---|-----------|---|
| | 助成対象経費(A) | | 左記のうち、助成対象経費限度額(B) | | 金額 | 積算内訳 |
| | 金額(円) | 積算内訳 | 金額(円) | 積算内訳 | | |
| 諸 訓 金 | 200,000 | アカデミー: 4名/回、9回 5,568円×36(人・回) = 200,448円 | 200,000 | アカデミー: 4名/回、9回 5,568円×36(人・回) = 200,448円 | | |
| 旅 費 | 720,000 | 遠距離: 2名/回、9回 30,000円(地方移動) × 18(人・回) = 540,000円 近距離: 2名/回、9回 2,000円(近圏移動) × 18(人・日) = 36,000円 宿泊: 遠距離者前泊 8,000円 × 18(人・回) = 144,000円 | 720,000 | 遠距離: 2名/回、9回 30,000円(地方移動) × 18(人・回) = 540,000円 近距離: 2名/回、9回 2,000円(近圏移動) × 18(人・日) = 36,000円 宿泊: 遠距離者前泊 8,000円 × 18(人・回) = 144,000円 | | |
| 渡 航 費 | | | | | | |
| 滞 在 費 | | | | | | |
| 借 料 及 び 損 料 | | | | | | |
| 消 耗 品 費 | | | | | 150,000 | スポーツドリンク、テーピング |
| ス ポ ー ツ 用 具 費 | | | | | 297,000 | スポーツ用具、練習用ボール 13,500円 × 22個 |
| 備 品 費 | | | | | | |
| 印 刷 製 本 費 | | | | | 160,000 | HCF資料(15ページ×7冊) + ホチキス2箇 所20冊) × 1.10 @160円 × 1,000部 = 160,000円 |
| 通 信 運 搬 費 | | | | | 135,000 | 機材運搬15,000円 × 9回 = 135,000円 |
| 委 託 費 | | | | | | |
| 賃 金 | | | | | | |
| 会 議 費 | | | | | | |
| 雇 務 費 | 31,000 | 770円(振込手数料) × 40回 = 30,800円 | 31,000 | 770円(振込手数料) × 40回 = 30,800円 | 300,000 | アカデミー業務補助 |
| 補 助 金 ・ 交 付 金 | | | | | | |
| そ の 他 | | | | | 340,000 | 400円(保険料) × 850(人/日) = 340,000 |
| 合 計 | 951,000 | | 951,000 | | 1,382,000 | |

※委託費、補助金については、実施内容に"〇〇委託"などとして、その内訳を記載。

事業計画書

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

| | | | |
|-----------------------------------|---|---|--|
| 助成事業細目 | ドーピング検査推進事業(ドーピング検査事業) ※競技団体用 | | |
| 助成対象者名 | 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会 | | |
| 事業名 | ドーピング検査 | | |
| 目的及び期待される効果 | ドーピング検査を実施することで、スポーツの価値、競技の公平性、競技の健康を守ることが出来る。更に競技者がクリーンであることを照明することにより、国内・国外にアピールすることが出来る。 | | |
| 具体的な事業の内容 | <p>[実施事業の内容]</p> <p>○令和2年度アメリカンフットボール検査対象競技会</p> <p>①12月14日(予定) 第75回毎日甲子園ボウル 会場: 甲子園球場</p> <p>②12月15日(予定) JAPAN X BOWL 2020 会場: 東京ドーム</p> <p>③1月3日(予定) 第74回ライスボウル 会場: 東京ドーム</p> <p style="text-align: right;">競技会検査 12検体(尿) 競技会外検査 6検体(尿)</p> | | |
| 事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開方法 | 情報の公開方法 (複数選択可) | <input checked="" type="checkbox"/> HPで公開する <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開する <input type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備する <input type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示する | |
| | 公表する内容 (複数選択可) | <input type="checkbox"/> 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開する) <input type="checkbox"/> 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開する) <input checked="" type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開する) | |
| 備考 | | | |

| | |
|------------|-----------------------|
| 助成事業（決定）者名 | 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会 |
| 助成事業（活動）細目 | ドーピング検査 |
| 事業（活動）名 | ドーピング検査 |

【事業実施にあたっての注意事項】

- ※ 交付決定（内定）時に助成対象経費とした経費であっても、実施状況報告及び実績報告の内容を審査した結果、助成対象経費としない場合がありますので、事務処理体制を適切に構築してください。
- ※ 助成事業（決定）者は、金融機関に助成事業（活動）についての専用の口座を設け、助成事業（活動）に係る入出金は全て当該専用口座を活用する必要があります。
- ※ 助成対象経費の支払は、本邦の通貨（円）とし、助成事業専用口座からの、口座間の銀行振込を原則とします。一部の例外を除き、現金により支出する場合は助成対象経費となりませんのでご注意ください。詳細は、「会計処理の手引」P.11をご確認ください。

交付申請書の審査結果は以下のとおりですので、ご確認ください。
 なお、交付決定（内定）金額は交付決定（内定）通知書のとおりです。

| 項目 | 内容 | 審査結果 |
|--------|----------------|--|
| 諸謝金 | 謝金について | 諸謝金を対象経費とする場合には、実績報告時に従事時間確認簿を提出してください。また、各個人が謝金を受領していることが確認できる書類（振込伝票、領収書、受領書等）を提出してください。 ※代表者への支払だけでは助成対象経費とできません。 |
| 諸謝金 | 謝金支給額の機関決定について | 昨年確認した限りでは、NF-Repへの謝金支給に関する規定がないため、JADAのDCO謝金単価を準用しているとのことでしたが、貴協会においても当該労務に対する謝金単価を10,000円/日とする旨については改めて団体内で承認をとり、機関決定をした上で適切に支給を行ってください（謝金規程にNF-Repに関する規定を追加するのか、年度ごとに決裁をとるのかはどちらでも構いません）。 |
| 旅費_交通費 | 交通費について | 実費弁償（直接に実際にかかった経費の支給）が原則となりますので、実績報告時には旅費支給一覧を提出してください。 |
| 旅費_宿泊費 | 宿泊費について | 実績報告時に1泊あたりの宿泊代金がわかるもの（領収書・請求内訳等）を提出してください。 |
| | | |

収 支 予 算 書

| | |
|-----------|-----------------------|
| 団 体 名 | 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会 |
| 事 業 細 目 名 | ドーピング検査 |
| 事 業 名 | ドーピング検査 |

(収入) (単位：円)

| 科 目 | 金 額 | 内 容 |
|------------|--------|-----------|
| くじ助成金収入 | 67,000 | 助成割合：9/10 |
| 協賛金収入 | | |
| 入場料収入 | | |
| 参加料収入 | | |
| 補助金・委託金等収入 | | |
| その他収入 | | |
| 自己負担金 | 23,000 | |
| 合 計 | 90,000 | |

(支出) (単位：円)

| 科 目 | 事業に要する経費 | 助 成 対 象 経 費 | | | 助成対象外経費 |
|---------------|----------|------------------|-------------------------|-----------------|---------|
| | | 助成対象 経費総額 (A) | 左記のうち、助成対象 経費限度額 (B) | 限度額との差 (A-B) | |
| 諸 謝 金 | 33,000 | 33,000 | 33,000 | | |
| 旅 費 | 38,000 | 38,000 | 38,000 | | |
| 渡 航 費 | | | | | |
| 滞 在 費 | | | | | |
| 借 料 及 び 損 料 | | | | | |
| 消 耗 品 費 | | | | | |
| ス ポ ー ツ 用 具 費 | | | | | |
| 備 品 費 | | | | | |
| 印 刷 製 本 費 | | | | | |
| 通 信 運 搬 費 | | | | | |
| 委 託 費 | | | | | |
| 賃 金 | | | | | |
| 会 議 費 | | | | | |
| 雑 役 務 費 | 19,000 | 4,000 | 4,000 | | 15,000 |
| 補 助 金 ・ 交 付 金 | | | | | |
| そ の 他 | | | | | |
| 合 計 | 90,000 | 75,000 | 75,000 | | 15,000 |

C 75,000

経費内訳表

団体名：公益社団法人日本アマリカソフツボール協会

事業細目名：ドーピング検査

事業名：ドーピング検査

| 科目 | 助成対象経費 | | | | 助成対象外経費 | |
|---------------|-----------|---|--------------------|---|---------|---|
| | 助成対象経費(A) | | 左記のうち、助成対象経費限度額(B) | | 金額 | 積算内訳 |
| 金額(円) | 積算内訳 | 金額(円) | 積算内訳 | | | |
| 諸 謝 金 | 33,000 | 競技団体係員立会い 11,137円×3競技上×1名/競技場 (NF-Rep) | 33,000 | 競技団体係員立会い 11,137円×3競技上×1名/競技場 (NF-Rep) | | |
| 旅 費 | 38,000 | 競技団体係員立会い 30,000円×1名 宿泊 8,000円×1名 (第74回毎日甲子園ボウル立会い) | 38,000 | 競技団体係員立会い 30,000円×1名 宿泊 8,000円×1名 (第74回毎日甲子園ボウル立会い) | | |
| 渡 航 費 | | | | | | |
| 滞 在 費 | | | | | | |
| 借 料 及 び 損 料 | | | | | | |
| 消 耗 品 費 | | | | | | |
| ス ポ ー ツ 用 具 費 | | | | | | |
| 備 品 費 | | | | | | |
| 印 刷 製 本 費 | | | | | | |
| 通 信 運 搬 費 | | | | | | |
| 委 託 費 | | | | | | |
| 買 入 金 | | | | | | |
| 会 議 費 | | | | | | |
| 雑 役 務 費 | 4,000 | 振込手数料 770円×5回 | 4,000 | 振込手数料 770円×5回 | 15,000 | ドーピング検査費(日本スポーツフェア ネス推進機構 費用)0円 ・第74回毎日甲子園ボウル ・JAPAN X BOWL 2019 ・第73回ライスボウル ドーピング検査キット運搬費 5,000円×3競技上×1回/競技場 JADAから検査日の前に送られて来た下記 段ボール3つを自宅から開球場まで車で 運搬 1:検査キット一式 2:水とスポーツドリンク 3:トランシーバー |
| 補 助 金 ・ 交 付 金 | | | | | | |
| そ の 他 | | | | | | |
| 合 計 | 75,000 | | 75,000 | | 15,000 | |

※委託費、補助金については、実施内容に"〇〇委託"などとして、その内訳を記載。

事業計画書

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

| | | | |
|-----------------------------------|--|--|------------------------------------|
| 助成事業細目 | 組織基盤強化事業(スポーツ団体ガバナンス強化事業) | | |
| 助成対象者名 | 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会 | | |
| 事業名 | フェアプレイ推進事業 | | |
| 目的及び期待される効果 | <p>・一昨年の「日本大学悪質タックル問題」や昨年の大学の不祥事から厳格かつ公正な対応をすることはもちろんであるが、これらが氷山の一角であるとの認識のもと、日本のアメリカンフットボールから暴力・ハラスメントといったスポーツマンシップ、フェアプレイ精神を妨げる要因を排除するとともに、アメリカンフットボールをスポーツマンシップとフェアプレイ精神に満ちた競技スポーツにするための活動を行なう。</p> <p>・日本アメリカンフットボール協会(JAFA)は平成25年度に内部通報規程や倫理懲罰規程を定めるとともに、暴力・ハラスメントの有効な監視体制の整備を進めているところであり、JAFA理事会が中心となって監視体制の整備をさらに進める。</p> <p>・一方で暴力・ハラスメントといったスポーツマンシップ、フェアプレイ精神を妨げる事象が発生しえない風土を醸成する活動が必要である。そのためには、スポーツマンシップとは何か、フェアプレイとは何か、を皆で考え、アメリカンフットボールの活動を通じてスポーツマンシップを身に着け、競技の場においてフェアプレイを実践するには何をすべきか、をアメリカンフットボールの競技に携わるみんなで考える場をJAFAが中心となって作って行くこととしたい。</p> | | |
| 前年度実績及び当該年度見込(目標) | | 令和元年度実績(見込含む) ※実施団体のみ記入 | 令和2年度見込 |
| | 組織統治に向けた自発的な取組件数 ※コンプライアンス委員会及び内部通報制度の設置など | 既設 回 | 既設 回 |
| | 研修会開催回数 | 4 回 | 6 回 |
| | 研修会参加人数 | 110 人 | 160 人 |
| | 専門家配置人数 ※NFのみ記入 | 2 人 | 2 人 |
| | NFへの専門家指導・助言回数 ※統括団体のみ記入 | 2 回 | 4 回 |
| 具体的な事業の内容 | <p>[ガバナンス強化に関する課題]</p> <p>・フェアプレイの精神、スポーツマンシップに対する認識が甘く適切な指導が不足している。</p> | | |
| | <p>[実施事業の詳細]</p> <p>・内部通報規程にある「協会外の相談窓口」を運用する。外部法律事務所に窓口対応を委託し連絡先をHPで公開する。 ・「相談窓口」に通報があった場合、内部通報規程に則り、専門家等の適切な対応を行う。</p> | | |
| 事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開方法 | 情報の公開方法 (複数選択可) | <input type="checkbox"/> HPで公開する <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開する <input type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備する <input checked="" type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示する | |
| | 公表する内容 (複数選択可) | <input type="checkbox"/> 事業の実施状況(助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開する) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果(助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開する) <input checked="" type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報(助成金額(交付決定額)及び何に使用したのかを公開する) | |
| 事業実施後に参加者等に対する満足度調査を行うか | <input type="checkbox"/> 行う <input checked="" type="checkbox"/> 行わない | 実施方法 | |
| 備考 | | | |

スポーツ振興くじ助成金に係る交付決定（内定）額の算定について

| | |
|--------|-----------------------|
| 助成事業者名 | 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会 |
| 助成区分 | スポーツ団体スポーツ活動助成 |
| 事業細目名 | 組織基盤強化事業 |
| 事業名 | フェアプレイ推進事業 |

令和2年度スポーツ振興くじ助成事業の審査結果は、以下のとおりです。

詳細については、同封の収支予算書等をご確認ください。

| | |
|-----------|-------------|
| 助成対象経費限度額 | 1,200,000 円 |
| 助成対象額 | 900,000 円 |
| 評価 | B |
| 配分割合 | 80% |
| 交付決定（内定）額 | 720,000 円 |

※助成対象額は、助成対象経費限度額に助成割合を乗じて算出しています。ただし、助成事業者の申請内容（助成事業者の自己負担額が千円未満の場合等）によっては、助成割合を乗じた額にならない場合があります。

※評価については、『令和2年度スポーツ振興くじ助成金募集の手引』に記載の、「審査の視点」の各項目を点数化し、スポーツ振興事業助成審査委員会において審議された配分基準に基づく評価及び配分割合（当センターホームページをご参照ください。）により、交付決定（内定）額を算出しています。

評価A：100%

評価B：80%

評価-：70% 申請1年目において前年度実績が乏しい団体

※個別の評価詳細については、お問い合わせをいただいてもお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

※助成金の確定額（事業終了後）を算出する際には、最終的な助成対象経費限度額に助成割合を乗じた額と、交付決定額のいずれか低い額を確定額とします。再度、上記配分割合を乗じることはありません。

| | |
|------------|-----------------------|
| 助成事業（決定）者名 | 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会 |
| 助成事業（活動）細目 | スポーツ団体ガバナンス強化 |
| 事業（活動）名 | フェアプレイ推進事業 |

【事業実施にあたっての注意事項】

- ※ 交付決定（内定）時に助成対象経費とした経費であっても、実施状況報告及び実績報告の内容を審査した結果、助成対象経費としない場合がありますので、事務処理体制を適切に構築してください。
- ※ 助成事業（決定）者は、金融機関に助成事業（活動）についての専用の口座を設け、助成事業（活動）に係る入出金は全て当該専用口座を活用する必要があります。
- ※ 助成対象経費の支払は、本邦の通貨（円）とし、助成事業専用口座からの、口座間の銀行振込を原則とします。一部の例外を除き、現金により支出する場合は助成対象経費となりませんのでご注意ください。詳細は、「会計処理の手引」P.11をご確認ください。

交付申請書の審査結果は以下のとおりですので、ご確認ください。
 なお、交付決定（内定）金額は交付決定（内定）通知書のとおりです。

| 項目 | 内容 | 審査結果 |
|--------|----------------|---|
| 諸謝金 | 従事時間の確認について | 諸謝金を対象経費とする場合には、実績報告時に従事時間確認簿を提出してください。また、各個人が謝金を受領していることが確認できる書類（振込伝票、領収書、受領書等）を提出してください。 ※代表者への支払だけでは助成対象経費とできません。 |
| 諸謝金 | 内部通報対応面談等について | 弁護士の活動実績が確認できる資料（弁護士の対応報告書等）をご提出ください。 |
| 旅費_宿泊費 | 宿泊費について | 実績報告時に1泊あたりの宿泊代金がわかるもの（領収書・請求内訳等）を提出してください。 |
| 借損料 | 施設利用明細について | 実績報告時に利用日・単価・数量など料金内訳がわかる書類（請求書・利用許可証・料金表など）を提出してください。 |
| 借損料 | 内部通報解決面談 | 報告時に、内部通報解決面談がどのようなものか確認をさせていただき、対象経費の可否を判断させていただきます。 |
| 共通 | 講習会/内部通報窓口について | 報告時に、実績を確認いたします。 内部通報等個人情報に関わる内容は伏せて頂いて構いませんので、本事業によりどのような活動があったかを確認できるような資料をご提出ください。 また、どのような点が改善され、どんな課題が残ったのかをご報告ください。 |
| 印刷製本費 | フェアプレイハンドブック | スポーツくじのロゴマークとスポーツ振興くじ助成事業の旨の掲示があるものが助成対象経費となります。 実績報告時に、成果物も併せてご提出ください。 |
| | | |

収 支 予 算 書

| | |
|-----------|-----------------------|
| 団 体 名 | 公益社団法人日本アメリカンフットボール協会 |
| 事 業 細 目 名 | スポーツ団体ガバナンス強化 |
| 事 業 名 | フェアプレイ推進事業 |

(収入)

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 | 内 容 |
|------------|-----------|----------|
| くじ助成金収入 | 720,000 | 助成割合：3/4 |
| 協賛金収入 | | |
| 入場料収入 | | |
| 参加料収入 | | |
| 補助金・委託金等収入 | | |
| その他収入 | | |
| 自己負担金 | 2,757,000 | |
| 合 計 | 3,477,000 | |

(支出)

(単位：円)

| 科 目 | 事業に要する経費 | 助 成 対 象 経 費 | | | 助成対象外経費 |
|---------------|-----------|------------------|-------------------------|-----------------|---------|
| | | 助成対象 経費総額 (A) | 左記のうち、助成対象 経費限度額 (B) | 限度額との差 (A-B) | |
| 諸 謝 金 | 167,000 | 167,000 | 167,000 | | |
| 旅 費 | 1,110,000 | 630,000 | 630,000 | | 480,000 |
| 渡 航 費 | | | | | |
| 滞 在 費 | | | | | |
| 借 料 及 び 損 料 | 160,000 | 160,000 | 160,000 | | |
| 消 耗 品 費 | | | | | |
| ス ポ ー ツ 用 具 費 | | | | | |
| 備 品 費 | | | | | |
| 印 刷 製 本 費 | 1,380,000 | 1,380,000 | 1,380,000 | | |
| 通 信 運 搬 費 | | | | | |
| 委 託 費 | | | | | |
| 賃 金 | | | | | |
| 会 議 費 | | | | | |
| 雑 役 務 費 | 660,000 | 660,000 | 660,000 | | |
| 補 助 金 ・ 交 付 金 | | | | | |
| そ の 他 | | | | | |
| 合 計 | 3,477,000 | 2,997,000 | 2,997,000 | | 480,000 |

C 1,200,000

経費内訳表

団体名：公益社団法人日本アメリカンフットボール協会

事業細目名：スポーツ団体ガバナンス強化

事業名：フェアプレイ推進事業

| 科目 | 助成対象経費 | | | | 助成対象外経費 | |
|---------------|-----------|--|--------------------|--|---------|--|
| | 助成対象経費(A) | | 左記のうち、助成対象経費限度額(B) | | 金額 | 積算内訳 |
| 金額(円) | 積算内訳 | 金額(円) | 積算内訳 | | | |
| 諸 訓 金 | 167,000 | (フェアプレイ講習会) @11,137円×1名(講師)×6回=66,822円 @5,568円×1名(運営スタッフ)×6回=33,408円 (内部通報対応面談等) @11,137円×1名(弁護士)×4回=44,548円 @5,568円×1名(識者)×4回=22,272円 | 167,000 | (フェアプレイ講習会) @11,137円×1名(講師)×6回=66,822円 @5,568円×1名(運営スタッフ)×6回=33,408円 (内部通報対応面談等) @11,137円×1名(弁護士)×4回=44,548円 @5,568円×1名(識者)×4回=22,272円 | | |
| 旅 費 | 630,000 | (講習会)講師+スタッフ(大阪在住)各区1回 100,000(札幌)+45,000(仙台)+12,000(名古屋)+16,000(金沢)+20,000(広島)+22,000(福岡)=215,000円、×2名=430,000円 (内部通報解決面談) @30,000円(東京-大阪)×4回=120,000円 (講習会)講師+スタッフ=2名 宿泊@8,000円×5区(札幌、仙台、金沢、広島、福岡)=40,000円 40,000×2名=80,000円 | 630,000 | (講習会)講師+スタッフ(大阪在住)各区1回 100,000(札幌)+45,000(仙台)+12,000(名古屋)+16,000(金沢)+20,000(広島)+22,000(福岡)=215,000円、×2名=430,000円 (内部通報解決面談) @30,000円(東京-大阪)×4回=120,000円 (講習会)講師+スタッフ=2名 宿泊@8,000円×5区(札幌、仙台、金沢、広島、福岡)=40,000円 40,000×2名=80,000円 | 480,000 | フェアプレイワーキング打ち合わせ 8回/年 東京JIFA事務所 遠距離委員 2名 30,000×2名×8回 |
| 渡 航 費 | | | | | | |
| 滞 在 費 | | | | | | |
| 借 料 及 び 損 料 | 160,000 | (講習会会場賃借料) @20,000円×6回=120,000円 (内部通報解決面談)会場費用 @10,000×4回=40,000円 | 160,000 | (講習会会場賃借料) @20,000円×6回=120,000円 (内部通報解決面談)会場費用 @10,000×4回=40,000円 | | |
| 消 耗 品 費 | | | | | | |
| ス ポ ー ツ 用 具 費 | | | | | | |
| 備 品 費 | | | | | | |
| 印 刷 製 本 費 | 1,380,000 | フェアプレイハンドブック作成 内容編集委託 一括 100万円 印刷製本 (カラー15ページ×40円+中綴じ105円)×500冊×1.10 | 1,380,000 | フェアプレイハンドブック作成 内容編集委託 一括 100万円 印刷製本 (カラー15ページ×40円+中綴じ105円)×500冊×1.10 | | |
| 通 信 運 搬 費 | | | | | | |
| 委 託 費 | | | | | | |
| 賃 金 | | | | | | |
| 会 議 費 | | | | | | |
| 雇 務 費 | 660,000 | (内部通報制度 協会外窓口委託費用) 窓口対応契約(法律事務所) @50,000円 ×12ヶ月×1.10=660,000円 | 660,000 | (内部通報制度 協会外窓口委託費用) 窓口対応契約(法律事務所) @50,000円 ×12ヶ月=660,000円 | | |
| 補 助 金 ・ 交 付 金 | | | | | | |
| そ の 他 | | | | | | |
| 合 計 | 2,997,000 | | 2,997,000 | 480,000 | | |

※委託費、補助金については、実施内容に"〇〇委託"などとして、その内訳を記載。